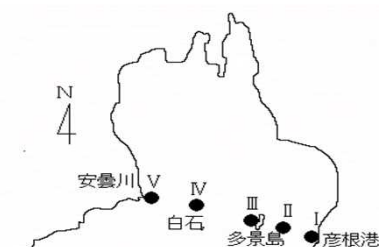


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和7年1月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和7年1月14日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場池先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

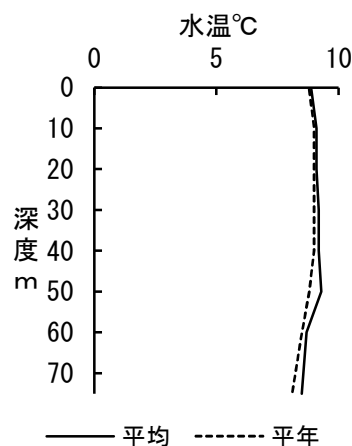
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2015年～2024年(平成27年～令和6年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 1月平均値 6.0m 平年値 7.5m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	1月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	8.9	8.8	+0.1
10	9.1	9.0	+0.1
20	9.1	9.0	+0.1
30	9.2	9.0	+0.2
40	9.2	9.0	+0.2
50	9.3	8.8	+0.5
60	8.7	8.5	+0.2
75	8.5	8.1	+0.4



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
12月下旬	9.5	9.5	+0.0
1月上旬	8.3	8.3	+0.0
1月中旬	8.1	7.8	+0.3

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	1月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0～10	14.4	4.9	+9.5
10～20	4.8	2.0	+2.8
20～40	2.6	1.7	+0.9
40～75	1.4	1.1	+0.3

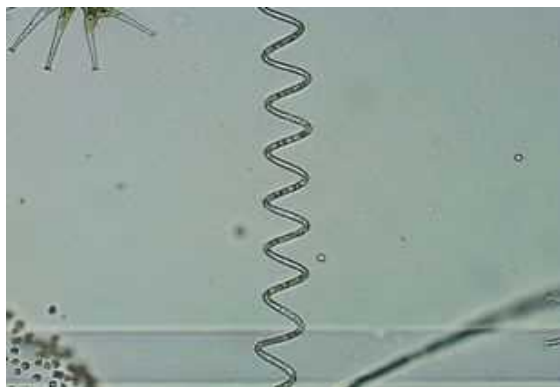
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点で*Aulacoseira ambigua f.japonica* (スジタルケイソウ：珪藻)が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



Aulacoseira ambigua f.japonica



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度：mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	1月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	10.8	93.8	10.5	91.2	0.3	(+2.6)
10	10.7	93.2	10.2	89.3	0.5	(+3.9)
20	10.6	91.9	10.1	88.5	0.5	(+3.4)
30	10.6	91.6	10.2	88.5	0.4	(+3.1)
75	3.6	30.5	6.7	57.2	-3.1	(-26.7)